

農業、地産地消、鳥獣被害防止、食育・教育、学生・若者の活躍、農村環境・景観保全

「未来に向けて、明るく元気なむらづくり」

活動の経緯

令和元年度より、里山に囲まれた小さな川沿いの水田の耕作放棄地の進展と周囲の丘陵地の荒廃桑園での鳥獣害の被害が多発する桑原地区の再構築を目指す活動に取り組む。

活動の概要

地域の素材を活用した「やきもち」などの食品づくりや増え続ける耕作放棄地を再生し、農村景観を活用した農業体験や自然景観を生かした美しい風情ある定住の場の実現を推進。



耕作放棄地の復元 田植え



竹林整備後 第1号の竹の子狩り体験者

活動の成果、主な実績等

○活動拠点としてGハウスを整備し、都市との交流及び地域内交流の推進に貢献。

○耕作放棄地であった田んぼ約10,000㎡を再生し、米作りに挑戦し、農業体験などに地域外住民が訪れ、令和4年度は6,000㎡の再生田んぼから約700kgの収穫を得た。

○Gハウス近隣の荒廃竹林の整備を行い、2年目で竹の子が収穫でき、竹の子狩り体験と山菜狩りを実施、3年目でフキノトウ、ヤマブキ、ワラビなどの山菜狩りを実施した。

○粉文化継承とした「やきもち」や「おつきりこみ」体験教室、桑粉を活用した体験教室を実施したほか、季節の山菜を取り入れた「山菜やきもち」、耕作放棄地で生産したサツマイモを桑の葉で包んで焼いた「桑の葉包み焼いも」の商品開発を行った。